月報だより

月報だよりの原稿は毎月 20 日締切，翌月に発行の「天文月報」に掲載致します．校正をお願いしておりますので，締切日よりなるべく早めにお申し込み下さい．

e-mail で jimu@geppou.asj.or.jp 宛．

なお，原稿も必ず Fax で 0422–31–5487 までお送り下さい．

人事公募

標準書式：なるべく，以下の項目に従ってご投稿下さい．結果は必ずお知らせ下さい．
1. 募集人員（ポスト・人数など），2. (1) 所属部門・所属講座，(2) 勤務地，3. 専門分野，4. 職務内容・担当科目，5. (1) 着任時期，(2) 任期，6. 応募資格，7. 提出書類，8. 応募締切・受付期間，9. (1) 提出先，(2) 問合せ先，10. 応募上の注意，11. その他（待遇など）

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究本部・宇宙科学情報解析センター

1. 教授（教育職）1 名
2. (1) 宇宙科学研究本部・宇宙科学情報解析センター
   (2) 神奈川県相模原市
3. 宇宙科学（理工学）分野
4. 衛星観測データの解析研究や計算機シミュレーション研究等を推進するとともに，本センターのデータベース・計算機・ネットワークの管理運営に主導的役割を果たせる方．
5. (1) 2005 年 4 月 1 日（予定）
   (2) 任期なし（定年 63 歳）
6. 博士の学位を有する者
7. ○履歴書，○研究歴，○論文リストと主要論文別刷，○これまでの研究概要と今後の研究計画，○他薦の場合は推薦書 2 通，自薦の場合は照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（住所，電話番号，電子メールアドレス）
8. 2004 年 11 月 29 日（月）必着
9. (1) 〒229–8510 神奈川県相模原市由野台 3–1–1 JAXA 宇宙科学研究本部　庶務課人事係
   (2) 研究総主幹　井上　一
   Tel: 042–759–8149
   E-mail: inoue@astro.isas.jaxa.jp
10. 応募書類は封筒の表に「宇宙科学情報解析センター教授応募書類在中」と朱記して書留便にて郵送すること．応募書類は原則として返却しません．
11. 宇宙科学研究本部は大学共同利用の機能を有します．選考は宇宙科学運営協議会にて行います．詳細は http://www.jaxa.jp/about/employ/.

宇宙航空研究開発機構 (JAXA) 宇宙科学研究本部・宇宙科学共通基礎研究系

1. 助教授（教育職）2 名（以下の A, B 各 1 名）
2. (1) 宇宙科学研究本部・宇宙科学共通基礎研究系
   (2) 神奈川県相模原市
3. (A) スペース天文学（太陽物理学）分野
   (B) スペース天文学（スペース VLBI）分野
4. (A) 2006 年夏季打上げを目指し開発中の SOLAR-B 衛星プロジェクトにおいて，衛星および搭載観測装置の開発と試験，科学運用，太陽物理学成果のとりまとめにわたり，中心的な役割を担う．
   (B) スペース VLBI に関わる装置と関連科学を理解し，「はるか」の成果のとりまとめから，次期スペース VLBI 計画の立案，開発，推進，運用にわたり，中心的役割を担う．
5. (1) 決定後できるだけ早い時期
   (2) 任期なし（定年 63 歳）
6. 博士の学位を有する者
7. ○履歴書，○研究歴，○論文リストと主要論文別刷，○これまでの研究概要と今後の研究計画，○他薦の場合は推薦書 2 通，自薦の場合は照会可能な方 2 名の氏名と連絡先（住所，電話番号，電子メールアドレス）
8. (A) 2004 年 11 月 22 日（月）必着
   (B) 2004 年 11 月 15 日（月）必着
9. (1) 〒229–8510 神奈川県相模原市由野台 3–1–1 JAXA 宇宙科学研究本部　庶務課人事係
   (2) 宇宙科学共通基礎研究主幹　小杉健郎
   Tel: 042–759–8175
   E-mail: kosugi@solar.isas.jaxa.jp
10. 応募書類は封筒の表に (A)「共通基礎研究系助教

授（太陽物理）応募書類在中」，(B)「共通基礎研究系助教授（スペース VLBI）応募書類在中」と朱記して書留便にて郵送すること．応募書類は原則として返却しません．

11. 宇宙科学研究本部は大学共同利用の機能を有します．選考は宇宙科学運営協議会にて行います．詳細は http://www.jaxa.jp/about/employ/.

国立天文台博士研究員

1. 博士研究員 1〜2 名
2. (1) 理論研究部
   (2) 東京都三鷹市
3. 理論天文学
4. ALMA などの高精度観測と直接比較に耐える「理論シミュレーションの観測的可視化手法」の開発，分子，原子輝線，連続波に対する新しい 3 次元輻射輸送計算エンジンの開発，輻射の効果を採り入れた，新しい流体ダイナミクスのシミュレーション手法の開発を行う．また，これらを用いた銀河，星間ガス，星形成に関する研究を，国立天文台理論研究部の科学研究費補助金基盤研究メンバー（観山，富阪，和田，大向）と協力して行う．
5. (1) 2004 年度内のできるだけ早い時期，もしくは 2005 年 4 月．
   (2) 年度毎に審査の上，最長 2007 年度末まで延長可．
6. 博士の学位を取得した方もしくは 2004 年度中に取得見込みの方．過去の研究分野は問わない．
7. (1) 履歴書（写真貼付），(2) 研究歴，(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別），(4) 主要論文のコピー，(5) 研究計画書（職務内容に関する抱負を含む），(6) 推薦書 1 通
8. 2004 年 11 月 12 日（金）必着
9. (1) 〒181–8588 東京都三鷹市大沢 2–21–1
   国立天文台理論研究部　観山正見
   (2) 国立天文台理論研究部　和田桂一
   Tel: 0422–34–3733
   E-mail: wada.keiichi@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「博士研究員応募書類在中」と朱記すること．郵送の場合は簡易書留で送付すること．
11. (1) 過去の国立天文台の各種研究員の経験者であっても応募可能です．
    (2) 研究員として採用された場合，給与は国立天文台研究員給与（助手相当の時間給，週 30 時間以内）および通勤手当が支給されます．
    (3) 科学研究費交付金の中から，おおむね 100 万円/年間/人の個人研究費（国内外旅費を含む）を割り当てる予定です．
    (4) プロジェクトリーダとの相談の上，勤務時間の少なくとも 50% まで本プロジェクト研究に専念していただきます．

国立天文台教育研究職
VERA 観測所上級研究員

1. 上級研究員（従来の助手）1 名
2. (1) VERA 観測所
   (2) 東京都三鷹市または岩手県水沢市
3. VERA プロジェクトの推進
4. VERA 計画は，世界初の位相補償型 VLBI 観測システムにより 10 マイクロ秒角の天体位置計測精度を達成し，銀河系内全域に渡り天体の距離を年周視差により決定し，銀河系の 3 次元地図と運動を明らかにするプロジェクトです．基本的な観測システムは完成していますが，今後目標精度達成に向けてシステムの改善・精度検証を行う必要があります．電波干渉計システム・天体位置計測に深い理解を有し，これらの作業に積極的に関わり，プロジェクトの運営の責任の一端を担い，VERA による観測的な研究も進めることのできる意欲的な人材を望みます．
5. (1) 決定後なるべく早い時期
   (2) 5 年．5 年後に資格審査の結果，任期のない主任研究員になることが可能です．
6. 大学院修士課程修了，またはそれと同等以上の方
7. (1) 略歴書，(2) 研究歴（これまでの研究内容の概要），(3) 研究論文リスト（査読論文とその他を区別し，共著の主要論文には役割分担を記すこと）および主要論文（3 編以内）の別刷，(4) 研究計画書，(5) 本人について意見を述べられる方 2 名の氏名と連絡先，または推薦書，(6) E-mail アドレス，(7) 希望勤務地
8. 2004 年 12 月 24 日（金）必着
9. (1) 〒181–8588 東京都三鷹市大沢 2–21–1
   国立天文台長　海部宣男
   (2) 〒181–8588 東京都三鷹市大沢 2–21–1
   国立天文台 VERA 観測所所長　小林秀行
   Tel: 0422–34–3914
   E-mail: hideyuki.kobayashi@nao.ac.jp
10. 封筒の表に「VERA 観測所上級研究員人事応募書類在中」と朱書し，郵送の場合は簡易書留でお送り下さい．選考は国立天文台運営会議において行います．

人事公募結果

1. 掲載号
2. 結果（前所属）
3. 着任時期

国立天文台教官電波天文学研究系助手

1. 2003 年 10 月（第 96 巻 10 号）
2. 浅井　歩（京都大学大学院理学研究科）
3. 2004 年 8 月 1 日

国立天文台理論研究部上級研究員

1. 2004 年 5 月（第 97 巻 5 号）
2. 工藤哲洋（西オンタリオ大学）
3. 2005 年 3 月 1 日（予定）

茨城大学理学部自然機能科学科助手

1. 2004 年 6 月（第 97 巻 6 号）
2. 岡本美子（北里大学一般教養部助手）
3. 2004 年 10 月 1 日

研究会・集会案内

フランスにおける第 3 回 JSPS フォーラム —The Universe: Origin, Evolution, Future—

フランス文部省推進のマルチメディアシステム「Canal-U」により本フォーラムの模様をインターネット同時中継で世界中に配信いたします (http://colloquesetconferences.u-strasbg.fr). フォーラム終了後は教育研究資料ファイルとして記録保存され，講演内容は随時視聴可能となります.

主　催：日本学術振興会ストラスブール連絡事務所
共　催：フランス研究省，ルイ・パスツール大学
日　時：2004 年 11 月 19 日（金）8 : 30〜18 : 00（日本時間 11 月 19 日 16 : 30〜11 月 20 日 2 : 00）
会　場：ルイ・パスツール大学講堂（ストラスブール）
《プログラム http://jsps.u-strasbg.fr》（フランス時間）

10 : 00–10 : 50　Exploring the New Frontier: Human Space flight
向井千秋氏（JAXA 宇宙飛行士）

11 : 10–12 : 00　Fundamental physics and the cosmic microwave background (CMB) observations
Jean-Loup PUGET 氏（パリ南大学教授/フランス科学アカデミー会員）

12 : 00–12 : 30　Presentation of JSPS Alumni Association
Marie-Claire LETT 教授（JSPS フランス OB 会会長）

12 : 30–14 : 30　Lunch & Posters

14 : 30–15 : 00　Presentation of JSPS Fellowships
関　百合子氏（JSPS ストラスブール連絡事務所）

15 : 00–15 : 50　Probing the Era of Galaxy Formation
岡村定矩氏（東京大学大学院理学部教授）

15 : 50–16 : 40　Distant Starbursts and the Cosmic Infrared Background
Catherine CESARSKY 氏（ヨーロッパ南天文台長）

17 : 00–17 : 50　Exo-Solar-Planets: Present and Future
海部宣男氏（国立天文台長）

http://jsps.u-strasbg.fr

2004 年 ALMA 公開講演会 天文学講演会「惑星と生命の起源を求めて —いよいよ始まる ALMA の建設—」のお知らせ

主　催：国立天文台
後　援：日本天文学会，日本惑星科学会（予定），日本学術会議天文学研究連絡委員会（予定），日本学術会議天文学国際共同観測専門委員会（予定）
日　時：2004 年 12 月 5 日（日）
13 : 00〜17 : 00（12 : 00 開場）
講　演：12 時開場　13 時開会　17 時閉会
会　場：有楽町朝日ホール　東京都千代田区有楽町 2–5–1　有楽町マリオン 11 階
内　容：ALMA 計画の紹介
海部宣男（国立天文台長）
「太陽系外に惑星を探す」
田村元秀（国立天文台助教授）
「生命惑星学への前哨」
井田　茂（東工大助教授）
参加方法：インターネットあるいは往復はがきによる参加登録が可能.

- インターネットの場合は，http://www.nro.nao.ac.jp/alma/ から.
- 往復はがきの場合には，裏面（往信用）に (1) 住所，(2) 氏名，(3) 年齢，(4) 電話番号，(5) 一緒に参加する人の氏名・年齢 (2) を列記し，表面（返信

用）に結果通知の送付先を記入のうえ，2004年11月26日（金）（必着）までに下記の事務局に送付.
- 受付先：〒181-8588 東京都三鷹市大沢2-21-1 国立天文台ALMA推進室「ALMA公開講演会」係

参加費：無料
定　員：約600名
対　象：主として中学生以上
問合せ先：国立天文台ALMA計画準備室
Tel: 0422-34-3843
E-mail: alma-info@nro.nao.ac.jp
http://www.nro.nao.ac.jp/alma
世話人：土橋一仁（東京学芸大），宮脇亮介（福岡教育大），阪本成一（国立天文台）

会務報告

早川幸男基金受給者募集要項

早川幸男基金への次回の申請締切りは2004年12月10日です．渡航期間は2005年1月1日から3月31日間です．詳細は，天文学会のホームページhttp://www.asj.or.jp/の「早川幸男基金」の部分をご覧下さい．若手天文学研究者の皆様の積極的な応募をお待ちしております．

早川幸男基金選考委員会

（社）日本天文学会へ2004年7月3日～9月17日までの間に入会された方，退会された方をお知らせします．

正会員入会者（18名）

政田洋平	大阪大・大学院理（在学）
伊藤光一	埼玉大・大学院理（在学）
榎原匡俊	東京大・大学院理（在学）/JAXA・宇宙科学研究本部
片桐秀明	京都大・大学院理・物理第二
当真賢二	京都大・大学院理・物理第二（在学）
川中宣太	京都大・大学院理・基礎物理学研究所（在学）
山下一芳	鹿児島大・大学院・物理（在学）
保田悠紀	北海道大・大学院（在学）
大槗昌史	京都大・大学院理（在学）
永田健太郎	大阪大・大学院理(在学)
千田崇文	京都大・大学院理(在学)
滝脇知也	東京大・大学院理・物理(在学)
中西靖男	北海道教育大(在学)
佐々木貴教	東京大・大学院理(在学)
須藤敬輔	立教大・大学院理(在学)
前富未来	青山学院大・大学院(在学)
井上剛志	京都大・大学院理(在学)
安田優人	(株)石油天然ガス・金属鉱物資源機構

準会員入会者（2名）

岡田　隆	福岡市立姪浜中学（在学）
樋口奈美	名古屋大・大学院理・天体物理（在学）

正会員退会者（2名）

Chan Szeting　小澤朋子

準会員退会者（9名）

徳丸　仁　坂下　勲　青木一博　宇野進吾　大戸彰三　川本和弘　上田　篤　鈴木一明　大山素宏